

# カルメル 霊性センターニュース



宇治カルメル会修道院 中庭

2020年2月

361号



## 【教会からの言葉】

「イエスにお目にかかりたいのです」(ヨハネ12章21節)

### 『福音の喜び』から

「時にわたしたちは、宣教への熱意を失うことがあります。福音は人の最も奥深くからの必要に応えるものであることを忘れてしまうからです。…… 福音の本質を適切に美しく表現することができれば、間違いなくそのメッセージは、心の奥深くからの問いに対するこたえとなります。

福音宣教に対する熱意は、この確信に基づくものです。わたしたちは、欺きはしないいのちと愛という宝と、誤らせも失望もさせないメッセージを持っています。これは人間存在の奥深くまで届くこたえであり、人間を支え、高めるものです。それは時代遅れのものにならない真理です。真理は、他のいかなるものも届きえないところにまで達することができるからです。わたしたちの無限の悲しみをいやすもの、それは無限の愛のみです。

(第五章 わたしたちを救うイエスの愛との人格的な出会い 265)

## 目次

教会からの巻頭の言葉	1
目次	2
心の泉	3
カルメル会の企画案内	2 5
東京	2 6
京都	3 2
名古屋	3 3
北陸	3 4
諸所の企画案内	3 5
通信深読お申込みのご案内	4 3
郵送お申込みのご案内	4 4
あとがき	4 5

# 心の泉



宇治カルメル会修道院 中庭



### 第三卷

#### 第二十五章 絶えざる心の平和と、真の靈的進歩はどこにあるか

##### 1 主

《子よ、私はこう言った、「あなたたちに平和を残し、私の平和を与える、私を与える平和は、この世が与えるものではない」(ヨハネ14・27)と。誰しも平和を望むが、真の平和を得させる事柄に、気をとめる者は少ない。私の平和は、心の謙虚な、柔和な者と共にある。あなたはこの平和を、忍耐をもって自分のものとしなさい。もしあなたが私の声を聴いて、それに従うなら、多くの平和を味わうであろう。》

##### 2 子

《それでは、主よ、私は何をすべきなのでしょう？》

##### 3 主

《自分が何をして、何を言うかにつねに注意しなさい。そしてあなたの意向は、私の好むことだけに向けられ、それ以外の何も望まないようにしなさい。他人のおこないと言葉とを、軽々しく判断せず、あなたに責任のないことに関わるな。そうすれば、めったに平和を失うことはない。

いつも不安を感じないで、心と体の悩みを経験しないということは、この世にあることではない。それは永遠の幸福の状態においてだけである。だから、どのような重荷も感じないといっても、それが真の幸福であると思うな。また、どんな敵もないからといって、すべてのことが好調に進んでいると思うな。すべてが思いのままにいくからといって、すべてが完全だと思ふな。深い信心と心の甘美さを感じても、自分はひとかどの者である、神の愛を受けていると思うな。心から徳を愛するものは、そういうことでわかるのではなく、人間の靈的進歩もそこにはない。》

##### 4 子

《主よ、それなら、どこにあるのですか？》

##### 5 主

《それは、心から自分自身を神のみ旨にゆだねること、小さなことにも大きなことにも、この世でも後の世でも、自分の利益を求めないことにある。こうすれば、幸運な時も不幸な時も、すべてのことを同じ目で見、同じ判断ではかり、つねに神に感謝しつつ、生きることができる。すべての慰めを奪われても、それ以上、辛いことを忍ぼうと準備するほどに心を強め、希望に固く立ち、自分はこれほどの痛みを受けるべき人間ではないと不平を言うことをやめ、どんな場合にも、私の正義を認め、私のみ旨をほめたたえるなら、それはあなたが、真の平和のまっすぐな道を歩んでいる証拠である。そうすれば、私の顔を見る希望をもつことができる。もしあなたが、自分自身を完全に軽視する境地になれば、流浪のこの世においても、望み得るすべての平和を、豊かに味わうことができると知りなさい。》

救い主の誕生をよろこび祝い、新しい年が始まってはや1か月の時がたちます。この世を支配し、人間を破壊する力に対し、神はまったく無力な存在として人間の歴史に介入され、分裂した人類に新しい一致をもたらされました。徹底的な無力さによって、神は私たちに慈しみを示されました。



神がこの地上をご覧になるとき、神は涙を流される。

力への渴望が人々の心を捕らえ、人間の精神を蝕んでいるから。

具体的には、まわりの人が自分に気づいてくれるか、評判はと常に気を配る。隣りの人より自分は優れているか劣っているか、強いか弱いか、早いか遅いか、いつも自分に問う。自分の存在、行動、活動範囲を少しでも自分の思うようにできそうなら、どんな力でも手に入れたと思う。

自分の安全が脅かされそうになれば、すぐに手近にある棒切れや銃をつかみ、たとえ他の何千もの生き残れない人がいても、自分が生き残ることが先決。

私は、自分の棒切れや銃が何であるかをよく心得ているだろうか：より影響力のある友人を持ち出すことだったり、お金や地位や学位・他の人にはないわずかばかりの才能・特別な知識・隠し持っている記憶・・・時には冷ややかな目つき。その場を制することが必要なら、何のためらいもなく、即座にこうした武器を手にとる。

自分がそうと気づくよりも前に、友人を押しつけてしまう。

神は、自分の存在を示したいがために力を利用するこのような私たちを目にするたびに、涙を流される。

それは、神から、他の人々から、私たちを引き離し、分裂を起こすものにしてしまうから。

～H・ナーウェン～

今月26日は灰の水曜日、四旬節がはじまります！

人とそして救い主を受け入れる「出会いの日々」となりますように。



よい四旬節を！

伊従 信子 (いより のぶこ)  
ノートルダム・ド・ヴィ

## 創造主への賛美 (28)

くのり 彰

原罪の物語は、人間の罪の根源を説明している。「神のように善悪を知る者となろう」する人の欲望は、言い換えれば、神のようになろうとする欲望と言い換えてもいいだろう（ここには神は善悪を知る者、全知全能の者であるという前提がある）。しかし、まさにその欲望によって、神のようには善悪を知ることはできなくなるのである。なぜなら、それによって、自己中心性（我）が芽生え、そのフィルターもしくは色眼鏡をもって、すべてのものごとを見るようになるからである。あらゆる判断が、自分（人間）中心になされ、自分を度外視して、人や物事をありのままに見ることはできなくなるのである。つまり、善悪を知る者となった人間は、自分を基準にすべてを良いか悪いかを判断するようになるのである。が、他者（他の存在）にとってはそうではない可能性もあり、あくまでも自分にとっての善悪なのである。たとえば、益鳥か害鳥かの区別は、人間が勝手につけたものであり、鳥にとってはいい迷惑であろう。より複雑な判断としては、人間に対する評価がある。その人が良い人か悪い人かの判断は、人によって異なる。しばしば、自分にとっての損得が基準になっている。

前回見たカインとアベルの物語は、原罪がもたらす結果である。しかし、これは生物学的遺伝という次元で考えられるべき問題ではないだろう。創造物語と同様、人間存在、「人間とは何なのか」という人間論の次元で捉えられるべきものと思われる。

ところで、カインは自分の献げ物に神が目を留められなかったことを、自分自身が無視されたことと取り、神に対して激しく怒り、嫉妬の心を兄弟アベルに向け、彼を殺してしまうのである。

自分が注目され、賞讃されたいと望む心は、自分がいつもその場の中心でありたい、自分がトップでありたいという心の傾き（原罪）であろう。そこで、自分の競争相手となる者を排除していく心が生じてくると思われる。それは、例えば、それまで母親の愛を独占していた長男が、次に生まれてきた次男に母親がかかりつきりになると、弟に嫉妬し、いじめるようになるのに似ている。元の状態にもどすには、その存在を抹殺することが手っ取り早い手段である。こうして（歴史的な意味ではなく、人間論的な意味で）最初の殺人が犯されるのである。

仏教では<sup>とんじんち</sup>貪瞋痴という三惑（三毒）がある。<sup>とんよく</sup>貪欲（むさぼり）、<sup>しんに</sup>瞋恚（いかり）、愚痴（おろかさ）であるが、これらは人間を覆う根本的な闇である無明から生じる。

（続く）



## 十字架の聖ヨハネのこぼれ話 (143)

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

### 「自然と十字架のヨハネの関係」(5)

流れる水を十字架のヨハネが特に好んだということには、注意を喚起すべきでしょう。彼の心理をいろいろ考えることなく、この要素を彼が、どのように、どれだけ語ったかを見ることができます。それは、彼の『神を信仰によって知ることを喜ぶ魂の歌』の中では、夜と一緒に、主役となっています。

こんこんと湧き、流れ出る泉を 私はなんとよく知っていることが  
夜であるのに

この唯一で三位一体的聖体的な詩を読むと、水や小さな小川の流れ見ていた時、また手に聖書をもって、リスボンで大西洋に面する海の大波を見ていた時、どのようにして賛美や観想が生じたのかを想像することができます。

ラ・ペニェラでの彼の滞在については、証人たちばかりでなく、当の十字架のヨハネも、エコロジカルな文章のアンソロジーにも入れてもよいような箇所です。1591年8月19日付のアナ・デ・ペニャロサ夫人宛の手紙において、こう言っています。「私は有難いことに、ここではとても居心地がよく、健康も良い状態です。というのも荒れ野の広やかさは、靈魂にも身体にもとても良いからです。靈魂の方はとても貧しく歩んでいます。靈魂も靈的荒れ野を持つよう主が望んでおられるに違いありません。主がもっとよく仕えられるならば、幸いです。私たちが何者であるかは主がよくご存じです。また荒れ野での靈操は、すばらしいものです。今朝、私たちはひよこ豆を収穫しましたが、また明日も明後日も午前中にかかるでしょう。次はさやむきでしょう。このようにもの言わぬ被造物をいじくるのはまことに楽しく、生きている被造物にいじられるよりずっと心地よいです」。柔和な十字架のヨハネ修士の最後の言葉にあるのは、メランコリアからのものではないでしょう。全人生の中でもっとも不当な扱い、最後の迫害が彼に迫っていました。

## A年 主の奉献

(ルカ 2 : 22 - 40)

主の奉献のお祝い日には、イエスが世の光であることを声高らかに宣言します。マリアとヨゼフは、イエスの誕生から40日後、エルサレムの神殿に赴き、モーセの律法に従ってイエスを男の長子として神に捧げました。主の奉献は、簡素でありながらも謙遜さが示された偉大な出来事です。この幼子は、私たち皆のためにこの世にお生まれになった神の御ひとり子という特別な存在であり、全能の御父の無条件の愛といつくしみを現わすために来られた諸国の光です。

ユダヤ教の習慣上、初めて男の子が生まれると、その両親は2つの儀式を行う必要がありました。まず、一人目の男子を神に献げなければなりません。そして、母親の清めを行う必要がありました。ただ聖家族の場合、聖母の処女懐胎と神の御子イエスの誕生には所定の清めなど不要であり、いずれの儀式も行う必要はありませんでした。また、ご自分を贖う必要のなかった聖なる御子であるイエスは、私たちを一人残らず罪から贖ってくださいました。とはいえ、マリアとヨゼフは律法を忠実に守りました。ここに、モーセの律法に忠実で真に謙遜な聖家族の姿を見ることができます。ヨゼフは、家長かつ父として、マリアとその子に謙虚に同伴し、神殿で必要な儀式を行ったのでした。

福音では、イエスを奉献するために神殿を訪れたマリアとヨゼフと、年老いたシメオンとの出会いが描かれています。シメオンは、「イスラエルの慰め」、すなわちメシアの到来を待ち望んでいました。すると聖霊は、シメオンに対し、マリアのそばに行き、幼子を腕の中に抱き上げるようにと促しました。そしてシメオンは、幼子イエスを祝福し、「あなたの救いを見た。あなたが聖霊によって約束されたものをこの目で見た」と主をたたえる美しい喜びの歌を歌いました。この瞬間、シメオンは自分の人生に満足し、死ぬ準備ができました。シメオンが幼子イエスを抱いた時、私たちが今か今かと待ちわびていたことが成就しました。シメオンが抱いたのは世の救い主だったからです。こうしてシメオンの希望と夢が完全に叶えられたのでした。

そうです！神である幼子イエスこそ、あらゆる約束と希望の成就のしるしです。私たちも心のうちにみどりごをぎゅっと抱きしめ、救いの喜びと実現を味わおうではありませんか。

(*Sr. Paulina*)

## 年間 第5主日

(マタイ5・13-16)

イエスは言われました。「あなたがたは地の塩である」、「あなたがたは世の光である」、「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい」。これは、その直前、イエスが教えていた真福八端を聞いていた人々に向かって言われた言葉です。

「心の貧しい人、悲しむ人、柔和な人、義に飢え渴く人、憐れみ深い人、心の清い人、平和を実現する人、義のために迫害される人は幸いである」。(マタイ5・1-12)

これを生きるあなたがたは「地の塩、世の光である」ということです。第一朗読のイザヤの預言も同じことを教えてくれています。

「飢えた人にあなたのパンを裂き与え、さまよう貧しい人を家に招き入れ、裸の人に会えば衣を着せかけ、同胞に助けを惜しまないこと。そうすれば、あなたの光は曙のように射出する」。「軛を負わずこと、指をさすこと、呪いの言葉をはくことをあなたの中から取り去るなら、飢えている人に心を配り、苦しめられている人の願いを満たすなら、あなたの光は、闇の中に輝き出で、あなたを包む闇は、真昼のようになる。」(イザヤ58・7-10)

「地の塩、世の光」になるとは、俗にいうスターになることではないのです。キリストのようにへりくだり、自分を低くし、憐れみ深く、柔和な者となり、貧しい人と分かち合う人。そういう人がこの世を照らし、地を清めるのです。

教皇フランシスコは、真福八端は「キリスト信者の身分証明書」であると言いました。私たちのクリスチャンとしての身分証明は、教会が発行する洗礼証明書などではなく、真福八端を実際に生きる事なのです。これを生きさえすれば、洗礼証明書などなくてもキリストの弟子であることが証明されるのです。教皇フランシスコは同じ文脈でこう言います。

「真福八端には師の顔が描かれており、わたしたちはそれを、日々の生活の中で透けて見えるようにしなさいと呼ばれているのです。」(教皇フランシスコ『喜びに喜べ』63)

師とはもちろんキリストです。私たちが真福八端を各々の生活の中で具体的に生きる時、その生き様をとおして、キリストの姿が透けて見えるようになるということです。それは、まわりの人に希望をもたらし、喜びを与え、実際に世を清める塩の働きをするに違いありません。分裂や腐敗に悩むこの世界に、私たちは、希望と喜びを回復させ、腐敗を防止する塩の働きをするようにとイエスから呼びかけられているのです。

(今泉健神父)

## 年間 第6主日 (A)

(マタイ5：17-37)

マタイの福音で、ユダヤ人の律法とイエス様の教えには繋がりがあること  
に気づきます。イエス様は、律法や預言者を排除するのではなく、完成する  
ために来られたことを譬えで教えられます。イエス様は新しい律法、すなわ  
ち愛の律法をお与になります。イエス様は言われます、「これらの掟を完成  
し教える人は、神の国で偉大な者となるでしょう。もしあなたの聖性が律法  
学者やファリサイ派の人たちの聖性よりまさっていないければ、神の国に入れ  
ないでしょう」。

イエス様は確かに、律法学者やファリサイ派の人たちが律法や掟を綿密に  
守ることを評価していました。しかし、イエス様は、彼らが律法の精神を保  
っていないことに批判的でした。これらのグループの人達は両者とも、律法  
に気を使いすぎて、律法の意味と目的を見失っていました。柔軟さの必要性、  
憐れみと同情の意味などです。彼らは、神と隣人を愛するよりも個人的な利  
益や、自分自身の完全さを強調しました。彼らの行いには偽善があり、精神  
的成熟が欠けていました。主は、このような行いや外面的な戒律に反感を持  
ちます。イエス様は彼らを真似しないようにご自分の弟子たちに言われます。

本日の福音の中で、弟子たちが教えを理解するように、イエス様はたくさ  
んの譬えを出しておられます。例えば、怒り、姦淫、離婚、偽証、誓約につ  
いて教えられます。イエス様は言われます、律法が教えていることを守るの  
だけでは十分ではありません、それに付随する根本的な徳を実行しなければ  
なりません。神と、神の民の間には密接な関係があります。このように、私  
たちは皆、私たちの兄弟姉妹の中に神を見出すように呼ばれているのです。

本日の福音で、イエス様は、私たちが行ってはならないことを明確にして  
います。自分自身に尋ねてみましょう：イエス様の言葉を真剣にとりま  
すか？ イエス様が求めるように生きようと努めていますか？ あるいは、私  
の生活の中で自分にとって、あるいは人々にとって健康的ではないとわかっ  
ているようなやり方で行動し続けるのでしょうか？ 毎日、一瞬一瞬、選択の  
自由があります！ 私の選択はどうでしょうか？

(Sr. Paulina)

## 年間 第7主日

(マタイ5：38－48)

今日の主日の福音ですが、年間第四主日からイエスの山上の説教が続いていますが、その一連の続きになります。「復讐してはならない」と「敵を愛しなさい」という2つのことが語られます。

「目には目を、歯には歯を」この様な先祖伝来の掟、すなわち同害によって報復する掟に従って人々は歩んできた、その掟を守ってきた訳ですが、イエスは「手向かってはならない」、「左の頬をも向けなさい」、「上着をも取らせなさい」…と自分に対する相手からの圧迫や要求に対して、それを受け止めてその人と、その相手とともに歩むように諭されます。求める者には与え、借りようとする者には背を向けなさいと。その様な中で行われている悪が終わり、相手との和解へと開かれてゆくのでしょうか。

また「隣人を愛し、敵を憎め」ということについては、その様にするのではなく、「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」と言われます。悪をもって悪に返すのではなく、積極的に愛をもって返していく必要を説かれます。自分を愛してくれる人を愛する、自分の兄弟にだけ挨拶をする。これらのことは徴税人や異邦人、すなわち誰もが普通に行っていることであり、そこから先に進む様に言われます。

見倣うべき模範は誰なのでしょう、それは天の父である神。父は悪人にも善人にも、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせて下さるお方。誰にも恵みを与えて下さる。その神の愛に倣う様に…と言わんとしておられるのではないのでしょうか。

私たちが人と比べて何かをする、また行ってゆくのではなく、完全でおられる天の父、父なる神の完全さに倣って、完全な者となる様にと、目指さなければならぬのです。神の子とされた私たちが父なる神、父なる神の子イエスに倣い、神が完全である様に、イエスが歩まれた様に、イエスが愛された様に、歩んでゆくことが、愛してゆくことができます様に。

(Fr. 古川利雅)

# いのちの言葉 2月

その子の父親はすぐに叫んだ。

「信じます。信仰のないわたしをお助けください。」

(マルコ 9・2)

イエスは弟子たちに伴われて、エルサレムへ向かっています。まもなく起こる一大事に備え、イエスは弟子たちの心を準備します。ご自分がユダヤ教の指導者たちに排斥され、ローマ人たちから死刑の宣告を受け、十字架につけられるが、のちに復活するのだ、と説き聞かせます。

イエスに従っていたペトロや他の弟子たちにとって、こうした話はあまりにむごく、理解し難いものでした。マルコの福音を読み進むと、イエスの果たす使命が徐々に明らかになっていくのが分かります。それは、苦しみという「脆（もろ）さ」を通して人類を救うという使命でした。

その使命を全うしていく過程で、イエスは多くの人々に出会い、それぞれが抱える問題に親身になって接します。この場面では、重症の息子、恐らく癲癇（てんかん）をもつ子を治してほしいと願う一人の父親の叫びを受け止めるイエスの姿があります。

この奇跡を実現するために、イエスは父親に一つのことを求めます。信仰を持つことです。

その子の父親はすぐに叫んだ。「信じます。信仰のないわたしをお助けください。」

イエスを取り囲む群衆の前で叫んだ父親の言葉は、一見矛盾するようにも聞こえます。彼も私たちと同様、自らの信仰の脆さを痛感し、神がご自分の子ら一人ひとりが幸せになるために与えられたご計画を、完全に信頼しきれない弱さを抱えています。

一方、神は人間を信頼され、人の自由な意志による合意という協力がなければ、何も行われません。たとえ小さなことであっても、私たちが自分の果たすべきことを為すよう、神は望んでおられます。それは例えば、良心に語りかける神の声に耳を傾けること、神を信頼すること。そして私たちの方も、愛を生きるようにすることなどです。

その子の父親はすぐに叫んだ。「信じます。信仰のないわたしをお助けください。」

現代社会において、成功するためには何事も「攻撃的」に行うことが良しとされている傾向にあります。

これに対し、福音が示す逆説（パラドックス）は、己の弱さや限界、脆さを出発点に神とのつながりを築き、普遍的兄弟愛という偉大な勝利に与（あずか）るよう招きます。

イエスはその生涯を通じて、奉仕の理念、末席を選ぶことを教えられました。仕えること、末席を選ぶことで何が変わるのでしょうか。そうした生き方は、一見勝ち組でなく、負け組に見えるでしょう。けれども敗北を成功へと転換させる最良の生き方です。身勝手な一時的な成功ではなく、人々と共有する永続的な成功です。

その子の父親はすぐに叫んだ。「信じます。信仰のないわたしをお助けください。」

信仰はいただくもの、賜物です。願い求めることができ、粘り強く願うべきものとも言えます。多くの人に希望の道を切り拓く神の働きに、信仰によって私たちも協力するためです。

キアラ・ルービックの言葉を紹介しましょう。「信じるとは、神が私たちを見ていて下さる、愛して下さると感じることです。私たちの祈りや言葉、行動の一つひとつ…悲しいことや嬉しいこと、どうでもよいようなことも…病気のときや一大事のときも。考えたことや感情、ちょっとした行いなど、本当にすべてを神は見ていて下さるのだと、知っていることです。

もし神が愛なら、全面的に信頼するのは当然のことでしょう。この信頼をもって私たちは神と語り、自分のことや決心、計画を神に話すことができます。私たち一人ひとりが神から理解され、慰められ、助けていただけることを確信し、神の愛に自分を委ねることができるでしょう。

『主よ、あなたの愛に留まることができるよう。あなたが愛して下さることを、信仰と体験によって、どんなときにも感じ、気づき、知ることができるようにして下さい』と祈りましょう。愛を生きながら。ひたすら愛し続けるなら、私たちの信仰は本当に堅固で揺るぎないものになっていくでしょう。私たちは神の愛を信じるだけでなく、心の中でそれに触れるように感じるでしょう。そして自分の周りで『奇跡』が起こるのを目にするでしょう。』

レティツィア・マグリ

連絡先：フォコラーレ東京 03-3330-5619/03-5370-6424 長崎 095-849-3812

E-mail:tokyofocfem@gmail.com

ホームページ: <https://www.focolare.org/japan/>

NHKの「ドキュメント72時間」というテレビ番組の愛好者です。

週に一回ずいぶん長く続いている番組で、きっと10年は越えているのではないのでしょうか。ある一定の場所に72時間カメラを置いて取材し、言ってみればそこを定点観測するという趣向ですが、特定されたその場所の72時間の間に行き来する人々の姿、生活、気持ち等々・・・人生の哀歓が、映像、ささやかな語り、その言葉、その表情などで鮮やかに浮かび上がり、ちょっと他には類をみないたとえようのない深い味わいをもたらします。

テレビ画面のそこに今いるその人が、私の胸の中に激しく切なく入り込むことがあります、あたかも見知っている人であるかのような親近感が生まれ、また小説を読むときと同じような感動があり、切実な感情移入となるのです。

そして人間とは深く「わたしたち」のことであり、深く「私」のことであるという共感が、身にいっぱい満ちる気がいたします。

番組が長く続くのは視聴者の人気があり、またそれなりの評価などが基となっているのでしょう。年末にはその年に放映されたものの人気投票が行われて、賑わいの特別番組が組まれています。

昨年の投票の番組を私はたまたま見ていたのですが、ベスト3のなかの2位に挙げられていたのが「密着！ レンタルなんもしない人」だったことに少し驚き、でも、やはりそうかと少し納得もし、あらためて自分の中の驚き、納得、それから腑に落ちかねている何ものかに心に向けてみたいと思いました。

「密着！ レンタルなんもしない人」はもうだいぶ以前に放映されたもので、他のものとはすこし異質のものでした。72時間の定点観測はいつものような「場所」ではなく一人の「人」に72時間密着するというもので、この人とは30代半ばの男性で、大阪大学大学院を出て会社員として仕事に就くも人間関係その他諸々の原因で自ら退職、そしてツイッターに「僕を貸し出します。レンタルなんもしない人」と掲載して「お客さん」を募ったというのです。

なんもしない人とはこうです。「簡単な受け答えと必要ならば飲食します。それ以外は何も出来かねます。交通費とかかった実費をいただきます」。

貸し出しは大繁盛だそうです。私が観たのは、犬の散歩に付き合ってください。私の作った料理を食べてください。買い物に付き合っ・・・韓国へ整形手術のために旅立つので荷造りする傍にいて。カラオケで私の歌うとなりのトトロを聴いてくださいなど・・・というものでした。



画面に登場した「なんもしない人」は、ひとことで言えばとても感じのいい人です。知的で、淡々として朴訥、無害の雰囲気醸成していて、そしてびっくりすることには家庭を持ち妻と幼い子供もいます。

テレビ番組のなかでの借り主さんたちは「なんもしない人」とそれぞれの要望を果たして、どの方もみな一様に大満足のごようすでした。

傍にいて穏やかに温かく相手の言い分を受けとめ相槌を打つ。否定したり反対したり、賛成したり、意見を出したりはしない。あくまでも「なんもしない」に徹する。カウンセリング的な傾聴とは違う。見ている私は、なぜ最先端のロボットではだめなのかと思わず言わずにはいられない感触を先ずもちました。その時の私の内の全容をとっさには捉えきれなかったのですが、何とていうか怒りに近いもので、そうだとしたらその底には深い哀しみがあるはずなのですが、すぐには自分にもわからないことでした。

自分の欲求を満たすのに相手を欲し、しかし関わってこられるのは困る。こっちの思い通りにしてほしい。傷つくのはいやです。たくさんの苦勞、勞力も払いたくない。でも欲しいものを取りたいのであなたが要る。それなりの報酬は支払います。感謝の気持ちは嘘ではありません。

今、人間の「同士」「関係」が希薄なのか或いは複雑なのか、もっと言えば変質してきたのか、とても具合悪くなっていて動きがとれず、だから疲れ果てていて、「なんもしない人」自身もそうですが) なんもしないで穏やかに傍にいて、こっちの欲求だけ通してくれる人(人間)を金品払って調達しようというのでしょうか。もしかしたらこれは、ずいぶんと贅沢な斬新な方便なののでしょうか。それとも人間関係の冒険にあたるのでしょうか。

私のような老人が見る今の世の中はほんとうに分かりにくく、追いつけず、途方に暮れる感じのもので満ちているのですが、今私は自分の内に生じていた哀しみに触れた気がしています。人と人がほんとうに関わり合い交わり合うとはそう簡単なことではありません。全身全霊をもって務めそれでも互いに傷つきなおも相手と自分を求める純な心を必要とします。心開き合い打ち明け合う相手との関係とは、自分の不足を手軽に補い自分の満足を意図して生まれ創造されるものではないと思うのですが、(ひとことに人間関係といってもそれこそいろいろ種々あることで、これは反論ではないのですが) 私たちは悲しいことにとっても疲れ大事な力を失くしてはいないのでしょうか。

(来月号に続くいたします)

(上野毛教会信徒)

# 糸巻き棒からペンへ(50)

現代人のためのイエスの聖テレジアの教え

エドゥアルド・サンス OCD

そして(聖女は)、手仕事で生活するようにと、また自分の任務とは無関係に、すべての修道女が修道院の生活を維持するために必要な奉仕、すなわち炊事、掃除、洗濯、畑仕事、玄関番などを順番で行うようにと付け加えています。「掃除の当番表は、長上から始まります」。権威は、規則によってというよりは、生活によって証しされるように、自己犠牲的な奉仕として行使されるべきです。「長上は、皆の従順を促すには愛されるよう努めるべきである」ということです。

## テレジア的ヒューマニズム

テレジアは、聖パウロが勧めている教えに従って、生きようとしています。「すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて名誉なこと、また徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい」(フィリ 4・8)。それゆえ、後に跣足カルメル会修道女を特徴づける根本的要素を文書にした際、祈り(念禱)や修道的实践について語る前に、修道奉獻の真の土台は、共同生活を促進する人間のかつ福音的な諸徳、すなわち真正さ、誠実さ、優しさ、礼儀、感謝、勤勉さ、清潔さなどの実践にあることを明らかにする必要があると考えました。真に祈りの人となり得るために、特に三つの「大きな徳」の実践を勧めました。すなわち、相互の愛、あらゆる被造物からの離脱、そしてすべてを含み、「真理の内を歩む」ための謙遜です。

テレジアにとって、謙遜、正直、真理への愛、自己認識は、同義語であり、それらはみな、率直さや単純さや、(聖女の言葉で言えば)親しみやすさや、「透明さをもって歩むことは、大きな慰めであること」を宣言するために、他人の前で装わないようにと導くのです。彼女の弟子である十字架の聖ヨハネは、ある人々に見られる複雑な儀式への執着や、信仰の事柄に関する単純さの欠如は、「耐え難い」ものだと言っています(3S43, 1)。

(P. 九里 訳)

# 跣足カルメル修道会HP (International)

跣足カルメル修道会ローマ本部のホームページ <http://www.carmelitaniscalzi.com> の記事を紹介します。

<< **Communications** (時事通信) >>

2020年1月12日

## メディア、跣足カルメル修道会のカリスマ宣言を報道

全スペイン語圏で広く知られているデジタルダイアリー紙 [www.religiondigital.org](http://www.religiondigital.org) は、この程 私たち跣足カルメル修道会のカリスマ宣言に至る研究過程を掲載しました。



“跣足カルメル修道会は、彼らのカリスマ宣言の最初のドラフト(草案)を研究し討議した。”と題して、ジャーナリストのバルタサール ブエノ氏は、「跣足カルメル修道会の総長顧問会は2015年のアビラ総会后に始められた会憲の再読及び2019年ゴアの臨時顧問会で承認されたプロセスを考慮に入れ、またこの修道会が存在する全領域で行った会憲の再読プロセスの第一段階で出された提案を大きく反映し、カリスマ宣言の最初のドラフトを準備した。」と報じました。

このデジタル新聞は、その全体のプロセス情報を詳しく伝えた後、スペインのラ コムニダド ヴァレンシアナで発行の“ラヴァンテ”のために二・三ヶ月前に跣足カルメル修道会のザヴェリオ カニス トウラ総長に行われたインタビューを付け加えました。

## アフリカでの会議

総長顧問会により準備された“跣足カルメル修道会のカリスマ宣言”のドラフト(草案)研究は、既に知られているように私たちの修道会が設立されている地理上のあらゆる領域で行われています。

私たちは、最近コロンビアとイタリアで開催された会議とともにアフリカでの集会のこともレポートしました。

その内容は、ナイジェリア、中央アフリカ共和国、マラウイが30歳から40歳の荘厳誓願宣立の修道司祭を会憲再読のために、アフリカ大陸全土の国々から召集し歓迎したことです。

(訳:小宮山延子)



# カルメル誌 新刊案内



## 2019年 冬号 No.375

\*\*\*《祈りを学びたい人のために》\*\*\*\*\*  
 信仰生活(再)入門 テレーズと共に歩む 幼子の道(8)  
 ー祈りを始めるために(4)主の祈り(後編) 片山はるひ  
 パウロの祈りに学ぶ(4)神の力の場である人間の弱さ  
 ーコリントの教会への第二の手紙 田畑邦治  
 エディット・シュタインが教える祈り(III) 須沢かおり  
 現代社会において 祈りの人となるには(4) 九里 彰  
 \*\*\*\*\*  
 風に吹かれて(22)ー虫がよすぎる 原 造  
 キリストに伴われて季節を巡る(8) 伊従信子  
 教会の「もてなし」の使命ー国籍を超えた神の国をめざして  
 ポール・フェルナンデス  
 カルメル会の会則に見る  
 アシェーシスと修道生活(8) 九里 彰  
 霊的研究会講義録(6)ー聖書・祈り・愛について  
 奥村一郎

## 2019年 特集号

「家庭の危機 教会の危機」  
 ー「愛のよろこび」に光を求めてー

神の愛の共同体ー家庭の霊性とカルメル 九里 彰  
 いっしょにいのちを育みたいなあ 小林由加  
 ー家庭と教育の現場から  
 創り創られるものー結婚・家庭の自然と恩寵 田畑邦治  
 キリスト信者の結婚と家庭  
 ー靈的・司牧的同伴からのー考察 松田浩一  
 聖家族を要として家庭と教会を見つめ直す  
 ー危機を好機に 大瀬高司

ご案内 1冊 520円 A5サイズ 50~70 ページ

サンパウロ・ドンボスコ書店・イグナチオ教会案内所・上野毛教会信徒ホール本コーナー・  
 各カルメル会黙想の家 他ににてお求め下さい

- 送付ご希望の方は、700円【520円 (+送料 180円)】程度の献金を下記へお振込み下さい
- 年間での継続送付ご希望の方は、年会費(年5冊:春夏秋冬+特集号 計 3,500円)を  
 下記へお振込み下さい

郵便振替:00190-4-195457 跣足カルメル修道会

- お問い合わせは、事務担当:今泉ヒサエ宛に上野毛修道院へ手紙かファックスで。

〒158-0093 世田谷区上野毛 2-14-25 Fax:03-3704-1764

又は E-mail: hisa\_ima520@ezweb.ne.jp



# 書籍案内

## 生きる意味

### ●キリスト教への問いかけ

清水正之・鶴岡賀雄・桑原直己・釘宮明美 編

A5判・312頁・2500円+税

ISBN978-4-87232-100-5

東日本大震災と原発事故によって喚起された「生きる意味」という愚直な問い。その答えを示すことこそが、「宗教」である。グローバル化に伴う経済格差、労働のあり方、宗教の役割など——危機にさらされている人間の救済の道を探る。

#### ———目次———

- 序 「生きる意味への問いかけ」がなされる場をめぐって／鶴岡賀雄
- 1 東日本大震災と宗教／中下大樹
- 2 宗教と社会と自治体の災害時協力／稲場圭信
- 3 東日本大震災に思うこと／佐藤純一
- 4 脱原発の倫理／久保文彦
- 5 何のために働くのか／神谷秀樹
- 6 グローバル化する経済の中の人間／勝俣 誠
- 7 私たちの社会に希望はあるか？／宮台真司
- 8 関係の倫理学／清水正之
- 9 宗教が医療・医学に果たした役割、果たすことが期待されている役割／加藤 敏
- 10 V・フランクルのロゴセラピー／桑原直己
- 11 「神の子となる」——カルメルの霊性と共に／★九里 彰★
- 12 「おかげさま」の言語化と生き方による霊性化／中野東禅
- 13 エディット・シュタイン『十字架の学問』への道とその霊性／釘宮明美

オリエンス宗教研究所 TEL:03-3322-7601 FAX:03-3325-5322

ご注文は全国のキリスト教書店、オリエンスHP、FAX、ネット書店などへ

# 2020年のご案内

年間テーマ 手をとりあい、白ら歩み出す



大瀬高司 師

好評の2019年の連載「カトリックの信仰を生きた愛国者・ステファノ山本信次郎」に引き続き大瀬高司神父の新連載が始まります。

●近代日本の歩みとカトリック教会  
——山本信次郎研究ノートより  
大瀬高司（カルメル修道会司祭）

山本信次郎研究で得られた成果から、近代日本のカトリック教会での出来事や人物を取り上げ、これまであまり知られていないエピソードを中心に紹介します。

## その他の新連載

- アンジェラスの鐘／加藤美紀（教育学者）
- 知恵ある者たちのアフォリズム／加藤久美子（聖書学者）
- かたわらに、今、たたずんで／大野高志（日本基督教団牧師）
- 聖歌と賛歌——民衆霊性と多様性から  
杉本ゆり（中世教会音楽研究者）
- 新米神父の開拓奮闘記／大西勇史（広島教区司祭）
- いのちの交わりの場——エコロジカルな暮らしのために  
吉川まみ（環境学者）

## 継続連載

- 典礼暦と季節の味わい（応用編）  
柳谷晃子（食文化研究所主宰）



## 月刊『福音宣教』お申し込み方法

◇郵便局に備えつけの振替用紙にて年間定期購読料を下記口座までお振り込みください。ご入金確認後、発送いたします。

- 口座番号：00170-2-84745
- 加入者名：オリエンズ宗教研究所
- ご購読料：7500円（税・送料込）
- 備考欄：「福音宣教～月号から」とご希望の開始月をご明記ください。ご指定がなければ、最新号からお送りいたします。

年間定期購読料（年11回、8・9月合併号）7500円（税・送料込）一部定価600円＋税

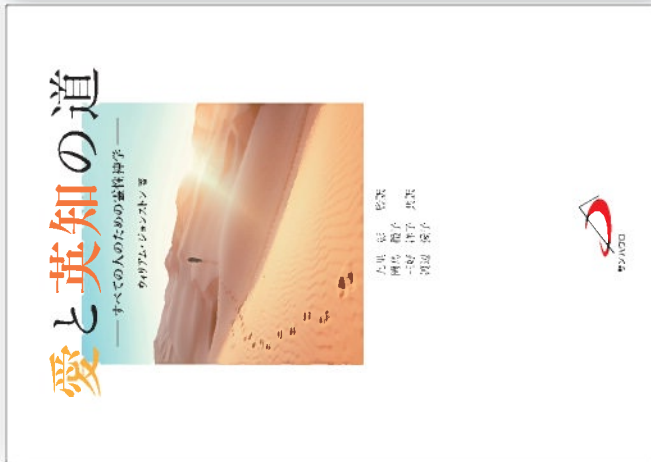
オリエンズ宗教研究所 〒156-0043 東京都世田谷区松原 2-28-5  
Tel 03-3322-7601 Fax 03-3325-5322 <https://www.oriens.or.jp/>

# 愛と英知の道

—すべての人のための霊性神学—

ウィリアム・ジョンストン 著

九里 彰 監訳  
岡島 禮子 三好 洋子 渡辺 愛子 共訳



西洋と東洋の神秘主義の伝統に通暁した著者が、21世紀というグローバル化し、「地球家族」となった現代世界のすべてのキリスト者に遺した霊的生涯の道しるべ。「すべての人は、聖職位階に属している人も、あるいはそれによって牧されている人も、皆聖性へと召されている。『あなたが聖なる者となること、これが神の望みである』と使徒が言っているとおりである」（『教会憲章』39）。

本書は、十字架の聖ヨハネが16世紀に向けてなしたことを、21世紀に向けて行なおうとする、ささやかな試みです。言いかえると、その目的は、命の水を渴望する人たちへ、観想的な祈りを教えることです。筆者は、主にキリスト信者を念頭に置いて筆を進めますが、真理の探究において私と心をもと心一つにし

## 第一部 キリスト教の伝統

- 第1章 福音書(1)
- 第2章 福音書(2)
- 第3章 理性対神秘主義
- 第4章 神秘主義と愛
- 第5章 東方のキリスト教
- 第6章 愛を通して生まれる英知

## 第二部 対話

- 第7章 科学と神秘神学
- 第8章 修徳主義とアジア
- 第9章 神秘主義と根源的なエネルギヤ
- 第10章 英知と(空)

## 第三部 現代の神秘的な旅

- 第11章 信仰の旅
- 第12章 浄化の道
- 第13章 暗夜
- 第14章 (愛のうちにある)
- 第15章 花嫁と花婿
- 第16章 一 致
- 第17章 英知
- 第18章 活動
- 第19章 社会活動の神秘主義

ウィリアム・ジョンストン William Johnston S.J. (1925-2010)

北アイルランドのベルファストに生まれる。

イエズス会に入会し、26歳で来日。

32歳で司祭に叙階され、以後、英語、英文学、宗教学を上智大学などで講じる。また、東西の宗教思想、特に神秘主義の研究と普及に尽力。パドロー・アルベ、トマス・マートン、ダライ・ラマ、永井隆、遠藤周作との出会いを通して、次々と著作を発表。現代に則した霊性探求の先駆者として、世界に広く知られている。85歳で帰天。





福者マリー=ユジェーヌ神父に導かれて  
十字架の聖ヨハネの  
**ひかりの道をゆく**

伊従 信子 編・訳

ISBN978-4-88216-372-5 C0195

定価**540**円(税込)

【聖母文庫】**287**

**第2版  
好評発売中!**



マリー = ユジェーヌ神父が十字架の聖ヨハネ  
を生き、体験し、確認した教えなのです。  
ですから、十六世紀の十字架の聖ヨハネの  
教えは現代の人々にも十分適応されます。  
また、神の命を伝え、実践的手段を示して  
聖性の最も高い段階へと導こうとする彼の  
配慮が伝わってきます。(「はじめに」より)

神と親しく生きる  
**いのりの道**

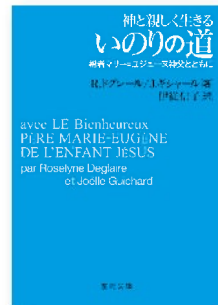
福者マリー=ユジェーヌ神父とともに

R. ドブレール / J. ギシャル 著

伊従 信子 訳

ISBN978-4-88216-307-7 C0195 【聖母文庫】**246**

定価**540**円(税込) 209頁



わたしは神をみたい  
**いのりの道をゆく**

マリー=ユジェーヌ神父とともに

伊従 信子 編・著

ISBN978-4-88216-339-8 C0195 【聖母文庫】**268**

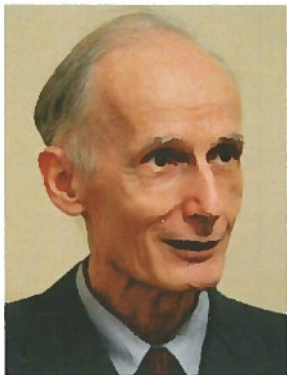
定価**648**円(税込) 281頁



ご注文・お問い合わせ先

**聖母の騎士社** ☎850-0012 長崎市本河内2-2-1  
TEL.095-824-2080 FAX.095-823-5340





## クラウス・リーゼンフーバー小著作集

(全五巻) 四六版・434頁～628頁

各巻 本体 3,800～5,000 円+税

著者は日本における中世哲学研究を牽引し、広汎にわたるキリスト教思想史の著述や編集・出版を手がけてきた。宗教家としても、キリスト教信者のみならず信仰に初めて出会う一般社会人と広く向き合い、講座や黙想会などを開いてキリスト教の精神と実践、信仰における超越との関わりを伝えている。人間の自己理解から出発し、聖書と哲学的な理解とを構築して、キリスト教信仰と霊性を現代人にとって生き生きとした形で展開している。講義、執筆活動をとおして西洋古代・中世さらに現代哲学思想をわかりやすく説く。この著作集は40余年の著述活動による150余の小論考からなっており、霊的な信仰理解と人間の経験とを結びつけて互いに支え合うものとして示そうとするものである。

人生の意義の解明と存在への問い。人生をめぐる哲学的・思想史的・人間論的な諸観点のもとで、聖書に基づいて第一根源である神を中心に展開する。

		ISBN
第1巻	<b>I 超越体験 一宗教論</b> 宗教の人間論的基礎付けを「意義への問い」という観点から考察した宗教哲学論文集。宗教的理解と経験がキリスト教的精神に基づいて絡み合い、人間の心を考察して全体の根源的な起源へ向ける。全11作、434p	定価(本体+税) 9784862852151 3,800 円+税
第2巻	<b>II 真理と神秘 一聖書の黙想</b> 日常生活を貫いて人間とかわる絶対的神秘を、聖書を紐解きつつ多面的な観点から浮き彫りにする。超越との関係を求める人に向けて、宗教的経験を解明する。全35作、544p	978-4862852175 4,600 円+税
第3巻	<b>III 信仰と幸い 一キリスト教の本質</b> 主の祈り、信条の命題に沿って信仰の全体像を解説。「山上の説教」をとおして人生における艱難辛苦にも焦点を合わせる。十字を切ることの意味など、聖霊の神学と霊性から信仰生活の深みを照らす。全38作、628p	9784862852205 5,000 円+税
第4巻	<b>IV 思惟の歴史 一哲学・神学的小論</b> 古代から中世のキリスト教思想史の考察の上に立脚し、現代における信仰をめぐる根本的な問いを洞察する。人間と神理解の可能性を新たに広げて信仰生活の深みに掘下げる。全41作、448p	9784862852212 4,000 円+税
第5巻	<b>V 自己の解明 一根源への問いと坐禅による実践</b> 信仰との関わり方の薄い現代人に向け、自己への問いから発した人生の意義と超越への方向付けを見出す実践的な道筋を示唆する。「今」を中心とする存在論・時間論を展開した最終講義「時間です!」収録。全35作、470p	9784862852229 4,200 円+税

### ●リーゼンフーバー、クラウス [Riesenhuber, Klaus]

1938年ドイツ生まれ。1958年イエズス会入会。1967年ミュンヘン大学哲学博士。同年来日。1969年上智大学文学部哲学科専任講師。1971年東京で司祭叙階。1974年上智大学中世思想研究所所長(～2004)。1981年上智大学教授。1989年上智大学神学博士。国公立大学で客員・非常勤講師。放送大学客員教授。2009年上智大学名誉教授。現在は哲学的人間論および宗教哲学などの講座を開講。

知 泉 書 館

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-13-2 TEL: 03-3814-6161 FAX: 03-3814-6166

<http://www.chisen.co.jp>



# 奥村一郎選集

## 追悼 奥村一郎師

その時と場所で与えられた役割を  
誠実に果たし続けた師が遺す珠玉の名編

四六判・上製・平均 240 頁・各巻とも **本体 2000 円**+税

日本の文化の中で福音が豊かに開花することを求めて祈り、思索した奥村一郎師。本選集は半世紀にわたるその膨大な著作、講演等の記録から特に重要と思われるものを選び、テーマ別に集成したものです。豊かな霊性をたたえた祈りの人であり、東西霊性交流など宗教対話のダイナミックな推進者。静謐さと情熱を併せ持つ著者が紡ぎ出してきた言葉の数々は、神と人に真摯に向かう姿を私たちに示してくれます。ときにユーモアを交えたその視座は、日本における福音宣教を願うすべての人々にとっての道標となることでしょう。

第1巻



### 慈悲と隣人愛 解説・西村恵信

日本文化に影響を与える仏教の光を当てつつ聖書を読み、キリスト教の本質理解に近づく。カトリックから禅へ／小事と瑣事／禅とキリスト教における靈的修行

第2巻



### 多文化に生きる宗教 解説・橋本裕明

宗教対話と霊性交流から得られた柔軟な視点から、日本での新たな宣教の可能性を示す。大いなる贈け——宗教対話／日本人とキリスト教——遠藤文学の魂

第3巻



### 日本の神学を求めて 解説・小野寺 功

日本の地に根ざす神学、その開花の可能性を福音の原点である相互愛から問いかける。日本の神学——根源への問い／相互愛／「信ずる」と「愛する」／新しい旋

第4巻



### 日本語とキリスト教 解説・阿部仲麻呂

関係性を重視する表現が中心となる日本語を手がかりに、ことばと信仰の関係を再考する。日本人の心とその精神構造／「ことば」から「みことば」へ／聖書と翻訳

第5巻



### 現代人と宗教 解説・鶴岡賀雄

宗教不在とされる現代、人々が直面する課題にキリスト教はどう向き合っているのか。現代人とキリスト教／偶像の喪失／退屈／「新しい人」としての真人

第6巻



### 永遠のいのち 解説・八木誠一

生と死、罪と恵み、正義と愛——人間の栄光と悲慘を見極め、永遠のいのちへの道を探る。嬰兒復帰／人間の栄光と悲慘／神は死せり／十字架の秘義／人間と世界と神

第7巻



### カルメルの霊性 解説・高園泰子

愛ゆえにすべてを、命さえも失ったイエスを追い求めるカルメル。その霊性の根源に迫る。アビラのテレジア／十字架のヨハネ／小さきテレーズと東洋的霊性

第8巻



### 神に向かう〈祈り〉 解説・高橋重幸

東西における祈りの方法論を丹念にたどりつつ、キリスト教の祈りの本質を明らかにする。考える祈り、思う祈り、愛する祈り／現代における祈りの指導者／祈りとは何か？

第9巻



### 奉獻の道 解説・宮本久雄

すべての人にみずからを与えつくす奉獻生活を通して、人間そのものの神秘を見つめる。清らかな矛盾／世を変えるパン種として／清貧の誓願／現代に生きる修道者の霊性

カルメル会会員、在俗会メンバーの方々には特別割引があります。直接お問い合わせ下さい。

**オリエンズ宗教研究所** 〒156-0043 世田谷区松原 2-28-5

**TEL : 03-3322-7601 FAX : 03-3325-5322**

ホームページ : <http://www.oriens.or.jp/>

# カルメル会の企画案内



カルメル会の標語

**Zelo zelatus sum pro Domino Deo exercituum**

私は万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました（列王記上 19 : 10）



## 東京 上野毛 霊性センター

黙想企画 \*\*上野毛 聖テレジア修道院 (黙想) \*\*

祭日のミサに参加するために

チェックイン午後3時以降可、チェックアウト午前10時

【クリスマス】

12月24日(木)～25日(金) 朝食《講話なし、夕食なし》

【聖週間】 聖木曜日から復活祭まで通して参加できます。またどの曜日からでも参加可能です。

4月9日(木) 夕食～4月12日(日) 朝食《講話なし、各食事つき》

聖書深読黙想会 (土曜日18時～日曜日16時)

5月30日(土)～31日(日) カルメル会士

7月 4日(土)～ 5日(日)

10月31日(土)～11月1日(日)

2021年 2月27日(土)～28日(日)

一日黙想会：(水曜日10時～16時・昼食付) カルメル会士

《 カルメル会聖人に学ぶ黙想会 》

2月19日 ウィリー神父 三位一体のエリザベット

3月25日 ジョニー神父

4月15日(水) 5月20日(水) 6月17日(水) 7月22日(水)

9月16日(水) 10月21日(水) 11月18日(水) 12月16日(水)

2021年 1月20日(水) 2月17日(水) 3月17日(水)

一泊黙想会 (土曜日16時～日曜日16時)

3月14日～15日 志村武神父

4月18日(土)～19日(日) 今泉健神父

7月11日(土)～12日(日) 今泉健神父

10月24日(土)～25日(日) 今泉健神父

2021年

1月23日(土)～24日(日) 今泉健神父

3月13日(土)～14日(日) 今泉健神父

奉獻生活者のための黙想会 (初日17時～最終日朝食) カルメル会士

8月 1日(土)～8月10日(月)

8月16日(日)～8月25日(火)

12月27日(日)～1月 5日(火)

青年黙想会(男女) 35歳位まで(初日16時～翌日16時) カルメル会士

2月15日(土)～16日(日)

5月15日(金)～17日(日)

2021年 3月26日(金)～28日(日)

召命黙想会(男女) 40歳まで(初日16時～最終日16時) カルメル会士

11月 6日(金)～ 8日(日)

特別黙想会(初日20時～最終日16時) Sr. 伊従信子(ノートルダム・ド・ヴィ)

11月13日(金)～15日(日)

- \* 日程、指導司祭は変更される可能性もあります。お申込みの際には、ホームページ (<http://www.carmel-monastery.jp>) なども合わせてご覧下さい。
- \* こちらに掲載されている以外の日時にもご利用可能です(グループ、個人いずれも)。お気軽にお問い合わせください。
- \* 間違いを避けるため、お問い合わせはFAX・はがき・Eメール等、文書でお送り頂きますと幸いです。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

聖テレジア修道院(黙想)

Tel:03-5706-7355 Fax:03-3704-1789

Eメール: [mokusou@carmel-monastery.jp](mailto:mokusou@carmel-monastery.jp)

ホームページ: <http://www.carmel-monastery.jp>



# カルメル青年黙想会

あなたの信仰があなたを救った



日時：2020年2月15日(土)16時～16日(月)16時

場所：カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)

対象：青年男女(16歳～35歳まで)

定員：20名

費用：一般 5,000円 学生 3,000円

締切：2020年2月8日(土)

指導：カルメル会士

※住所・氏名・性別・年齢・電話番号・所属教会名を記入し、ハガキ・FAX・E-mailの何れかで下記まで。折り返し、こちらよりご連絡させていただきます。

158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)

電話：03(5706)7355

FAX：03(3704)1789

E-mail：[mokusou@carmel-monastery.jp](mailto:mokusou@carmel-monastery.jp)

# カルメル会聖人に学ぶ黙想会

## 一日黙想会

### 三位一体の聖エリザベツ

天国での私の使命は、人々を自分自身から解放させ、単純かつ愛に満ちた動きによって神に身を任せるように誘いかけ、助けることです。神はご自分に身を委ねたものの心の奥底に、ご自身を刻み込み、彼の似姿へと変えようとなさいます。それで、そのために必要な沈黙を自分のうちに深めて、そこに人々が留まるように助けます。

\*\*\*\*\*



日時: 2020年2月26日(水)10時~16時

場所: カルメル会聖テレジア修道院(黙想)

指導: ウィリー神父 (男子カルメル修道会)

会費: 3500円(昼食付)

\*お問合せ・お申込み

〒158-0093東京都世田谷区上野毛2014-25

カルメル会聖テレジア修道院(黙想)

Tel.03-5706-7355 Fax:03-3704-1789

E-mail mokusou@carmel-monastery.jp

# カルメル会聖人に学ぶ黙想会

## 一日黙想会

祈りとの困難、アビラの聖テレジア

完徳の道 :第 23 章～26 章に学びましょう。

人間は、生きてると、順境の時もあれば逆境の時もあります。困難な状況に陥った時に神を信頼してお祈りすることで不思議と状況が開いていくことがあります。この困難を乗り越えるためにアビラの聖テレジアは、完徳の道を通して私たちに道を示して下さいます。そんな中でも恐れることなく、神の力に信頼して道を歩くことができますよう祈りの時を過ごしましょう。

\*\*\*\*\*:\*\*\*\*\*

日時: 2020年3月25日(水曜日)10時～16時

場所: 上野毛カルメル会聖テレジア修道院(黙想)

指導: ジョニー神父 (男子カルメル修道会)

会費: 3500円(昼食付)



\*お問合せ・お申込み

〒158-0093東京都世田谷区上野毛2014-25

カルメル会聖テレジア修道院(黙想)

Tel.03-5706-7355 Fax:03-3704-1789

E-mail mokusou@carmel-monastery.jp



# 一泊黙想会

5月より新しく一泊黙想会を開始致します。皆様の参加をお待ちしています。

場所: カルメル会聖テレジア修道院(黙想)

指導: 志村 武神父

会費: ¥6500

日時: 2019年 5月25日(土)~26日(日) 16時開始、翌日16時まで

7月 6日(土)~ 7日(日) //

11月 9日(土)~10日(日) //

2020年 1月 18日(土)~19日(日) //

3月14日(土)~15日(日) //

\*お問合せ・お申込み

カルメル会聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

TEL. 03-5706-7355

FAX. 03-3704-1789

Eメール:mokusou@carmel-monastery.jp





## 宇治カルメル会 黙想会案内 (2020年2月～3月)

2020年4月～8月頃まで黙想の家の改修工事を行うため、その期間、宇治カルメル会での黙想会は行われません。  
それ以降については、決まり次第、お知らせ致します。

### 【聖書深読黙想会】(午前10時～午後4時)

3月14日(土) 中川博道神父

### 【水曜の黙想】(午前10時～午後4時)

2月26日(水) 復活への道〈灰の水曜日〉中川博道神父

~~3月18日(水) まだ眠っているのか? Sr.ロザ 中止~~

### 【土曜の黙想】(午後1時～午後6時)

3月7日(土) 苦しみの中イエス 中川博道神父

### 【四旬節の黙想】(午後5時～午後4時)

3月7日(土)～8日(日) 「荒野での試み」 ~~中川博道神父~~ → 志村武神父 変更

—その他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします—

☆お申し込みは電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、お申込み下さい。お電話はなるべく午前9時～午後5時の間にお願い致します。受付が休みの場合はその場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様をお願い致します。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12  
宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)  
Tel 0774-32-7016 Fax 0774-32-7457  
E-Mail: [teresiauji@mountain.ocn.ne.jp](mailto:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp)  
<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

# カルメル修道会 土曜静修 in 名古屋

—カルメル会士とともに過ごす聖母の土曜日—

日 時 : 2020年 2月1日 (土) 13時から 17時

場 所 : カルメル修道会 日比野 (本部) 修道院 (カトリック日比野教会)

プログラム : 13時 ~ 講話・黙想など  
16時 ~ ミサ (ミサ中に教会の祈り)、サルヴェ・レジナ (ミサ後)  
17時 解散

- ・受付開始は12時半頃。 ・プログラム途中、ゆるしの秘跡の時間を設けます。
- ・プログラムに必要な「祈りのリーフレット類」は、こちらで準備いたします。

そ の 他 : 参加のための事前連絡は不要です。当日、直接会場にお越し下さい。  
(尚、当日は、1,000円程度のご寄付を宜しくお願いいたします。)

問い合わせ : 郵便、FAX、E-mail の何れかで「カルメル修道会 一日静修係」まで。

郵便 456-0062 名古屋市 熱田区 大宝 4-5-17

FAX 052-681-6445

E-mail [hibino@carmel.or.jp](mailto:hibino@carmel.or.jp)

## 今後のスケジュールなど

★3月以降の予定は、現時点では未定です。

尚、静修は第1土曜日とは限りませんので、[霊性センター](#)、[ホームページ](#)等でご確認下さい。

【ホームページ】 <http://www.carmel-monastery.jp>

< 主催 > 男子跣足カルメル修道会 日比野 (本部) 修道院 (大瀬神父・古川神父)

## 金沢黙想案内

毎月第一日曜日 三馬教会 聖堂

14：30～ 講話

15：30～ ミサ（ラテン語聖歌）

## 土曜フレックスタイム静修

毎月第三土曜日（第二の場合あり）三馬教会 聖堂

14：00～ 講話

14：30～ ベネディクション・聖体祭儀

15：30～ サルヴェ レジナ 終了

沈黙の祈りのうちに神様と語らい、またご聖体のイエス様と  
共に静かに憩いの時を過ごし、心をリフレッシュしましょう



カルメル霊性センター

〒921-8162

金沢市三馬3丁目324番地

カルメル会 三馬修道院

三上 和久神父まで

Tel 076-244-7788

## 諸所の企画案内



真命山 霊性交流センター  
ノートルダム・ド・ヴィ  
サダナ瞑想  
慈しみ深き会  
ノートルダム教育修道女会・唐崎修道院  
詩編の会

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。  
記載には注意を期しておりますが、  
詳細は各問い合わせにご照会下さい。  
よろしくお願い致します。

## 真命山 2020年 — 祈りの集いのご案内

### 「祈り」

最高の神秘体験として御聖体の秘跡を戴いてキリストと出会う

毎月第2木曜日（10:00～15:00）

指導者 フランコ神父

- 1月 9日 「キリストに結ばれる」：入信の秘跡の完成  
2月13日 「キリストに生かされて生きる」：永遠のいのちの糧をいただく  
3月12日 「キリストとともに死ぬ」：ほふられた小羊の生け贄に倣う  
4月 9日 「過越の神秘の体験」：復活されたキリストと出会う  
5月14日 「聖霊に生かされて歩む」：聖霊降臨の恵みの中で生きる  
6月11日 「キリストの現存の神秘」：「みことば」は私たちの間に宿られる  
7月 9日 「一致のしるし、愛のきずな」御聖体から生まれる教会
- \* \* \*
- 9月10日 「御聖体によるいろいろな奇跡」：ご聖体に対する信心の歴史  
10月 8日 「キリストの現存」：信仰のしるしである御聖櫃の美術  
11月12日 「死に勝たれた救い主の勝利」：終末論の宴  
12月10日 「私たちの間に生まれるキリスト」：御ことばは「肉」となられた



申込先

真命山 諸宗教対話センター

865-0133 熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7

e-mail: shinmeizan@gmail.com

前晚17:00まで可

www.shinmeizan.com

# 講話と祈りのつどい

【2020年2月1日（土）】

祈り 愛の交流



今年から、神と親しく生きる『いのりの道』（R.ドグレール、J.ギシャール共著、伊従 信子訳 ドン・ボスコ社）をテキストとして使用します。

講話・祈り・分かち合い 2時～午後5時30分

担当 中山真里

場 所：ノートルダム・ド・ヴィ（東京・上石神井）



参加費：200円

\*\*\*\*\*

ノートルダム・ド・ヴィ

〒177-0044 練馬区上石神井4-32-35

TEL(03)3594-2247 FAX(03)3594-2254

e-mail [notredamedevie.japan@gmail.com](mailto:notredamedevie.japan@gmail.com)

## サダナ瞑想 ～東洋の瞑想とキリスト者の祈り～

詳細、補充情報はホームページをご覧ください。

<https://sadhana.jp/>

申込み受付・・開始日の8日前まで

コース	日時	指導	開催場所	申込み
サダナⅡ	3/18(水)17:30- 22(日)16:00	Fr植栗	ニコラバレ修道院 1F(四ツ谷)	来間(くるま) 裕美子※ TEL 090-5325-2518 045-577-0740 sadhana12378@yahoo. co.jp
入門A	4/5(日) 9:30-17:00	Fr植栗	ニコラバレ修道院 1F(四ツ谷)	同上
フォローアップ	4/19(日) 9:30-17:00	Fr植栗	ニコラバレ修道院 1F(四ツ谷)	同上
リピータの会 @那須	4/24(金)14:00- 26(日)14:00	Fr植栗	ベタニア修道女会 聖ヨゼフ山の家	同上
ダイアリー	5/2(土)17:30- 6(水)16:00	Fr植栗	上石神井無原罪聖 母修道院	同上

※申し込まれると確認メールが返信されます。確認メールが届かない場合は、090-5325-2518（来間）までお問い合わせください。

※不在の場合は、渡辺由子 Tel&Fax : 042-325-7554

### ◆サダナⅠ

サダナⅠにおいて、呼吸や身体感覚を鋭敏に感じることと心の静まりを入り口として、深みに進みます。

### ◆入門A.B.C

本来は、宿泊して営む「サダナⅠ」を内容を分割して体験していただくプログラムです。もし可能であれば是非、「サダナⅠ」への宿泊参加していただきたいのですが、諸般の事情でどうしてもそれが出来ないという方のためのプログラムです。

### ◆サダナⅡ

サダナⅠの土台を生かしながら、さらに奥へ、高みへと向かいます。

### ◆ダイアリー

沈黙のうちに自分の生涯を観察し、神からいただいた宝を見出そうとするものです。





## 念祷の集い

～沈黙の内に神を求めて～

場所：イグナチオ教会岐部ホール404号室  
12月のみマリア聖堂（ミサあり）

時間：以下の木曜日  
14：00～16：00（講話と念祷）

主催：慈しみ深き会



くのり

指導：九里 彰 神父（カルメル修道会）

### 【2020年】

ウィリアム・ジョンストン著『愛と英知の道—すべての人のための霊性神学—』  
(サン・パウロ)を少しずつ味わいながら、共に祈ってゆきましょう。

- 1月23日 ~~第一部~~ ~~キリスト教の伝統~~ ~~終了~~  
~~第1章~~ ~~背景（1）~~
- 3月26日 第2章 背景（2）
- 5月28日 第3章 理性対神秘主義
- 7月23日 第4章 神秘主義と愛
- 9月24日 第5章 東方のキリスト教
- 11月19日 第6章 愛を通して生まれる英知
- 12月17日 第二部 対話  
第7章 科学と神秘主義

\*参加費無料（献金歓迎）

\*問い合わせ先：042-473-6287 篠原

※各黙想会内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。

## ノートルダム教育修道女会・唐崎修道院 (2020年)

◎ 所在地： 〒520-0106 滋賀県 大津市 唐崎 1丁目 3-1  
Tel : 077-579-7580  
Fax : 077-579-3804  
E-メール : karainorind92@mbe.nifty.com

◎ 交通： JR 京都駅から湖西線で三つ目「唐崎」下車。  
琵琶湖の方へ徒歩 約 13分

◎ 黙 想

### A. 8日間の個人指導による黙想

初日は、18時の夕食で始まり、最終日は昼食で終わります。

- ① 5月10日(日)～ 5月18日(月)
- ② 8月14日(金)～ 8月22日(土)
- ③ 10月 4日(日)～ 10月12日(月)
- ④ 12月27日(日)～2021年1月4日(月)

### B. 祈りの体験：週末3日間 (金曜日の夕食～日曜日の昼食)

【神との親しさの中で日常を生きるために】

- ① 2月 7日(金)～ 2月9日(日)
- ② 2月28日(金)～ 3月1日(日)
- ③ 3月27日(金)～ 3月29日(日)
- ④ 6月12日(金)～ 6月14日(日)
- ⑤ 7月17日(金)～ 7月19日(日)
- ⑥ 9月18日(金)～ 9月20日(日)
- ⑦ 11月13日(金)～11月15日(日)

C. 講話 黙想（奉獻生活者のため）

6月22日（月）夕食 ～ 6月30日（火）昼食  
九里 彰 師（カルメル会）

- ◎ 対 象： 信徒、修道者、司祭、洗礼を受けていない方、どなたでも参加できます。
- ◎ 靈的同伴者： 司祭、ノートルダム教育修道女会会員、その他
- ◎ 申込み： 1) 氏名(カガカ) 2) 〒住所 3) 電話番号 4) 希望日程(番号)を書いて郵送、または、Faxで「黙想係」Sr.松本佳子へ申し込んでください。

唐崎修道院への案内地図の必要な方は、その旨を書き添えて下さい。

8日間の黙想は 先着順 11名、週末3日間の黙想は先着2名 です。

いずれの場合も、10日前までに申し込んでください。

D. 独身女子青年の集い

7月25日（土）～ 26日（日）


9月12日（土）～13日（日）

11月7日（土）～ 8日（日）

申込み：唐崎修道院 Sr. 桂川美代（Tel. 077-579-2884）

- E. その他： 司祭同伴の黙想会やグループ研修会のために修道院をご利用なさりたい方はご相談ください。

（但し、上記の日程と8月1日～8月9日、9月1日～9月7日を除きます。）



午後の静修<講話・念祷・ミサ>へのおさそい

《わたしが生きることゝ渴く神》

— 灰の土曜日に —

日 時：2020年2月29日(土)  
12時～16時(受付11時半)

指 導：中川博道神父 (カルメル修道会)

対 象：どなたでもご参加ください。

※実費費用の為に献金をお願いします。

上履きをご持参ください。

要申込：住所・氏名・電話番号・所属教会

をご記入の上、

FAX 又はメールにて (返信します)

定員になり次第〆切 (12月2日から受付開始です)

FAX:045-402-5131

e-mail:shihennokai@gmail.com

場 所：聖パウロ修道会 若葉修道院

東京都新宿区若葉1-5

JR中央線/営団地下鉄 丸ノ内線・南北線 「四ツ谷」駅下車

サンパウロ→ドンボスコ→ファミリーマートを左折


→甘栗太郎を右折→道なりに右折→90m直進

四ツ谷小学校の正面

主催：「詩編の会」

問合せ：TEL/FAX：045-402-5131 (藤井)

e-mail:shihennokai@gmail.com





## 朝日カルチャーセンターの 通信深読「聖書に親しむ」へのご案内

「通信深読」は、「聖書深読黙想会」にさまざまな理由で参加できない方々のために考案されました。参加を希望される方は、下記の朝日カルチャーセンター通信講座課へお申し込みください。手続きがすめば、次のような手順でこの「通信深読」が行われてゆきます。

### ファースト・ステップ

「個人素読」：毎月、朝日カルチャーセンターから指定された聖書深読箇所を、ひとりで繰り返し読み、み言葉を自由に黙想します。

### セカンド・ステップ

「個人素読」の報告書作成：送られてきた用紙（B5用紙）に、深読箇所特に印象に残った節を二三ヶ所選び、番号と○や△や×などの記号を記し、「全」には、全体の印象を表す、ご自分の体験と結びついた具体的な名詞を、「照」にはみ言葉を実践する決意を示す動詞を書き込みます。さらに「所感」や「近況報告・質問」の欄に、ご自由に自分の考えや質問等を記入します。

### サード・ステップ

（参加者から朝日カルチャーセンターへ送られた「個人素読」の報告書は、参加者全員のものまとめられ、講師へ送られます。）

講師が各参加者の「個人素読」の報告書に対しコメントし、深読箇所の「解説」（A4 2枚）と共に、朝日カルチャーセンターへ送り返します。

### フォース・ステップ

コメントされた全員の「個人素読」の報告書（「近況報告・質問」はプライベートなこともあるので、削除されます）と「総合素読表」、そして講師の「解説」が冊子となり、各参加者に、センターから送られます。

\* 費用：6ヶ月（20,360円）。納入は4月、7月、10月、1月。継続の場合19,130円。

\* 講師：九里彰師（奇数月）、今泉健師（偶数月）

\* 問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル

私書箱21号 朝日カルチャーセンター通信講座課

Tel: 03-3344-2527（直通）

# 『靈性センターニュース』

## \* 郵送お申込みのご案内 \*

ご郵送は、基本的に1月から12月までとなります。  
途中からお申し込みの場合は、お申し込みの翌月から12月までとなります。  
例：6月申込の場合は、7月号~12月号（但し8月号は休刊）となり、  
5冊となります。ご希望の月数×250円程度の献金を下記口座  
へお振込み頂ければ、幸いです。

郵便番号口座： 00910-6-333184  
加入者名： カルメル靈性センターニュース事務局

なお、振替用紙の通信欄には、「郵送申込」（何月から何月まで）、また氏名、  
郵便番号・住所、電話、Fax等ご明記ください。

また、郵送お申込とは別に、ご献金もお願いしております。

その場合は、「献金」とご記入お願い致します。

何かご質問等があれば、事務局の方にご連絡ください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12  
カルメル会宇治修道院 「靈性センターニュース事務局」  
Tel:0774-32-7456  
Fax:0774-32-7457

[reisei@carmel-monastery.jp](mailto:reisei@carmel-monastery.jp)

男子跣足カルメル修道会のホームページ

<http://www.carmel-monastery.jp>

Google:「カルメル会」で検索できます



男子跣足カルメル修道会  
Order of Discalced Carmelites

靈性センターニュース掲載の情報も載っています

## あとがき

二十一世紀の幕開けに聖ヨハネ・パウロ二世教皇は、「多方面で世俗化が進んでいるにも関わらず、世の中に霊性の要求が普及していることは、今日見られる『時のしるし』です」と宣言され、2000年に及ぶカトリック教会の「(イエスとの出会いを生きた)輝かしい多くのあかしの中でも、十字架の聖ヨハネの教えや、アビラの聖テレジアの教えをどうして忘れることができるでしょうか？」(『新千年期の初めに』33 2001年)と呼びかけられました。

この呼びかけに応えようと、わたしたちカルメル家族は、2003年のアビラ総会文書『イエスのテレジアと十字架のヨハネと共に歩む 本質的なことからの再出発』をもってカルメルの霊性とカリスマの本質の再検索を始めました。この20年近く、世界の大きな変動の中、私たちは霊的両親が開いた霊性とカリスマのより深い次元を探りながら歩みつづけてきました。

今回、本ニュースにおいて、2か月にわたってご紹介した、「カルメルのカリスマ宣言の研究」の動きは、こうした一連の流れの中にあります。

教皇たちは、霊性の重要性を何度も語りながら、その在り方への警戒をも発しておられます。

「内向きで個人主義的な霊性への誘惑は避けなければなりません。それは、愛からくる要求や受肉の意味は言うに及ばず、つまるところ、キリスト教的終末の緊張とも相いれないものだからです。」(前掲書52)。

「孤立、それは内在主義の言い換えであり、神を排斥した偽りの自立として表現されます。しかし、宗教界では、それは不健全な個人主義に見合った霊的消費主義として見いだされます。……人間性に欠けた提案や、肉を伴わず他者とのかわりをもたないイエス・キリストでもって、それにこたえようとしてはなりません。」(『福音の喜び』89)

人々の中で、人々と共にイエスを生き生きと生き抜いた霊的両親と共に、「カルメルのカリスマ宣言」を生きる者となれますことを願っています。(中川)



~~~~製本／発送のご協力お願い~~~~

「霊性センターニュース」の製本/発送を、2017年7月号より宇治修道院で行う事になりました。発送作業は梱包・宛名ラベル貼りと確認チェック等です。皆様のご協力をお待ちしております。初めての方、不定期参加も大歓迎です。

次回の製本/発送日 **2月28日(金) 午前10時頃から**  
**宇治修道院信徒会館**

※ご協力いただける方は、製本/発送日をご確認の上、お越しく下さい。

霊性センター事務局 ☎0774-32-7456